



# 第22期理事長挨拶

平成29(2017)・平成30(2018)年度

平成29(2017)年5月12日

NPO法人日本歯周病学会理事長

栗原 英見

# 日本歯周病学会が60周年を迎えて

## 学会の目的

・歯周病の予防・治療を推進することによって**国民の健康増進**に寄与する

目標：60周年を期に  
“**歯周病の撲滅**”を目指す

1. 歯周病の予防に取り組む
2. 歯周病の治療の普及・高度化

日本歯周病学会  
60周年記念京都大会  
JSP Diamond Anniversary Meeting in Kyoto

会期 2017年12月16日土-17日日  
場所 国立京都国際会館  
〒606-0001 京都市左京区岩倉大塚町422番地  
TEL: 075-705-1229 FAX: 075-705-1100

伝統と革新  
歯周病撲滅に向けて!

大会長 栗原 英見 広島大学大学院医歯薬保健学研究科  
歯周病医学研究室 教授

準備委員会 事務局 広島大学大学院医歯薬保健学研究科  
歯周病医学研究室

運営事務局 株式会社日本銀行 西日本 MICE 食糧部内  
TEL: 06-6342-0212 FAX: 06-6342-0214  
E-mail: jap760@ntr.co.jp

# 日本歯周病学会はどのような学会か？

- ・**科学者** (大学の歯周病学講座(研究室)出身者)が**リーダーシップ**を取っている学会 (教育・研究病院で働いている)

分野	内容	対象	備考
<b>研究</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研究</li> <li>・臨床研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病因解明</li> <li>・治療法解明</li> <li>・予防法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治験、臨床研究は少ない</li> <li>・科学研究費補助金</li> </ul>
<b>教育</b> (人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生教育</li> <li>・臨床研修医の教育</li> <li>・専門医養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師</li> <li>・歯科衛生士</li> <li>・歯科技工士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験対応</li> </ul>
臨床	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の診療</li> <li>・地域の基幹病院 (特定機能病院)</li> <li>・標準的な治療の普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院出来る患者主体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医科との連携</li> <li>・周術期口腔ケア</li> </ul>
地域社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術的サポート</li> </ul>
<b>国際貢献</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受入</li> <li>・海外歯科医療支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術交流協定</li> </ul>

# 医科・歯科の医療提供体制の違い(医療機関勤務者)

\* 円の面積は人数に比例

医師

総数  
296,854

病院勤務  
194,961 (65.7%)

人事交流  
↑↓

医育機関(大学病院)  
52,306 (17.6%)

診療所  
101,884 (34.3%)

歯科医師

総数  
100,965

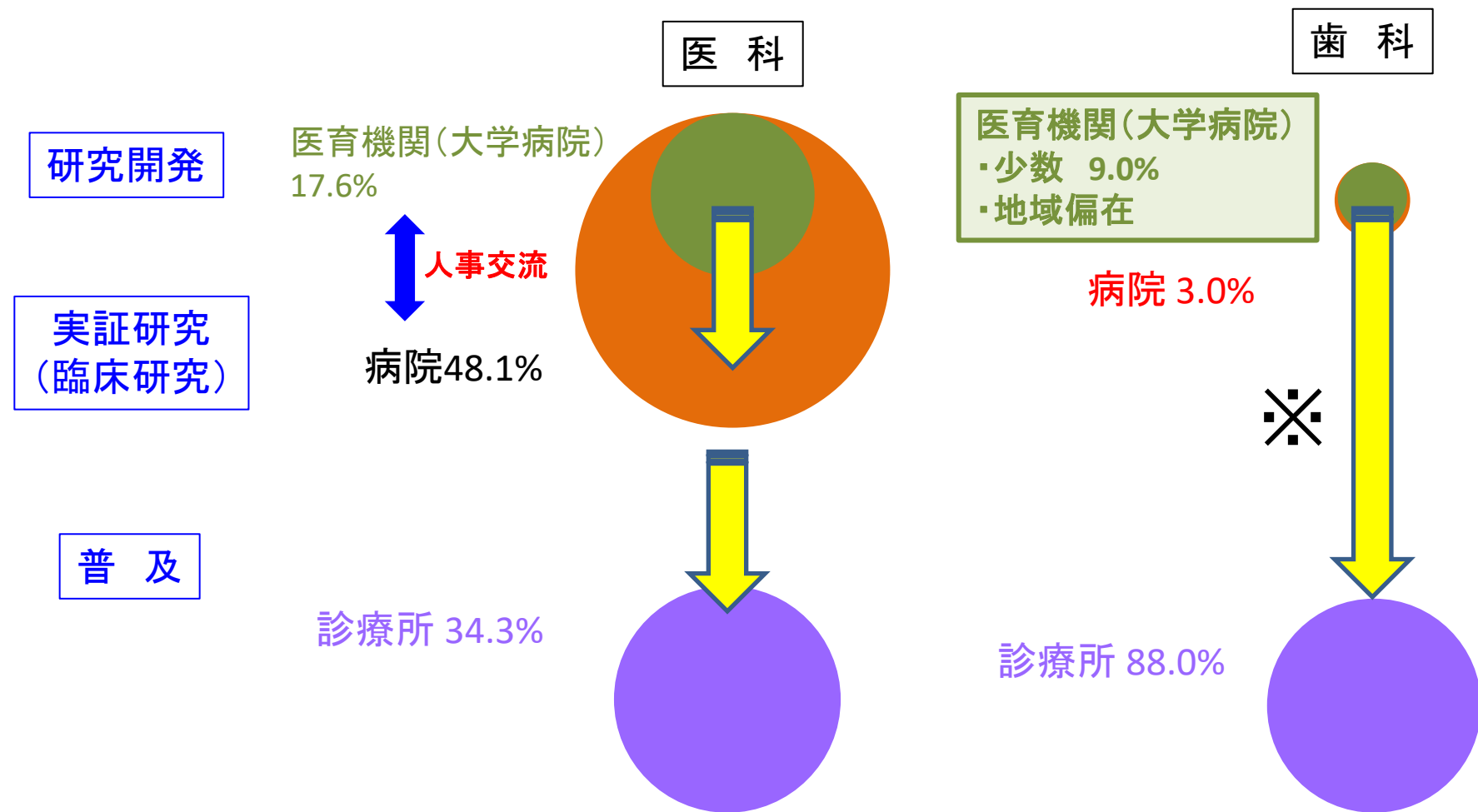
病院勤務  
12,141 (12.0%)

医育機関(大学病院)  
9,052 (9.0%)

診療所  
88,824 (88.0%)

医科は大学病院を含めた病院が主  
歯科はほとんどが歯科診療所で提供

# 医療技術の開発と普及・専門医の養成



歯科は新規治療の普及や専門医養成が構造的に困難

※新しいものを世に広めていく 大きな可能性がある

# 学会の将来構想

日本歯周病学会の特徴(強い部分=科学)を  
目的達成のためにどのように社会へ反映していくのか？

学会の継続的な発展の方策を検討

理事長の任期が2年で再任不可  
→ 学会の継続的な方針が必要

執行部に理事長・前理事長

中期目標・中期計画

“将来構想検討WG”

- ・現執行部
- ・学会あり方委員会委員など

1年以内にまとめる



国立大学附属病院の将来像  
～現状と展望～  
「グランドデザイン 2016」

NATIONAL UNIVERSITY HOSPITAL COUNCIL OF JAPAN GRAND DESIGN 2016

平成 28 年 6 月

国立大学附属病院長会議

# さらなる発展に必要なこと(将来構想) 1

## 1. 歯周病学会と地域の医療現場(医科/歯科)との連携

国民や他の医療従事者から信頼される専門医

\* 信頼される＝能力があって近くにいてくれる

歯周病治療の高度化＝新しい治療法・考え方を正確に普及させる

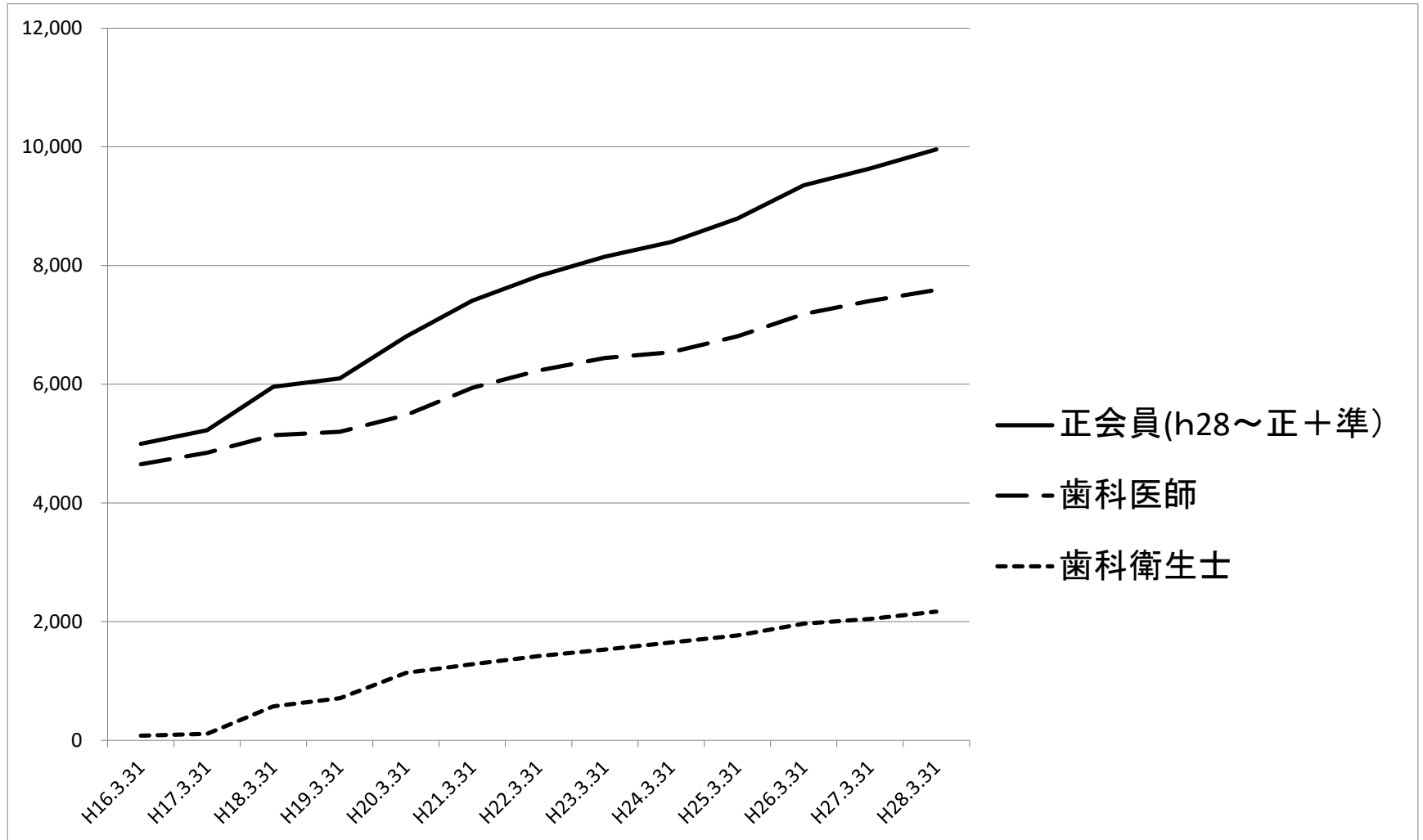
学会の社会的責任

斎藤滋名誉会員の御指摘？

### 1) 全国的な影響力の強化(学会と地域医療との乖離の是正)

- (1) 専門医のあり方 → 地域での活動の強化
  - ・医師との連携治療を評価
  - ・高齢者対応の評価
- (2) 専門医の適正数と適正配置
  - ・日本臨床歯周病学会との連携強化
  - ・都道府県歯科医師会との連携の構築

# 会員数の動向



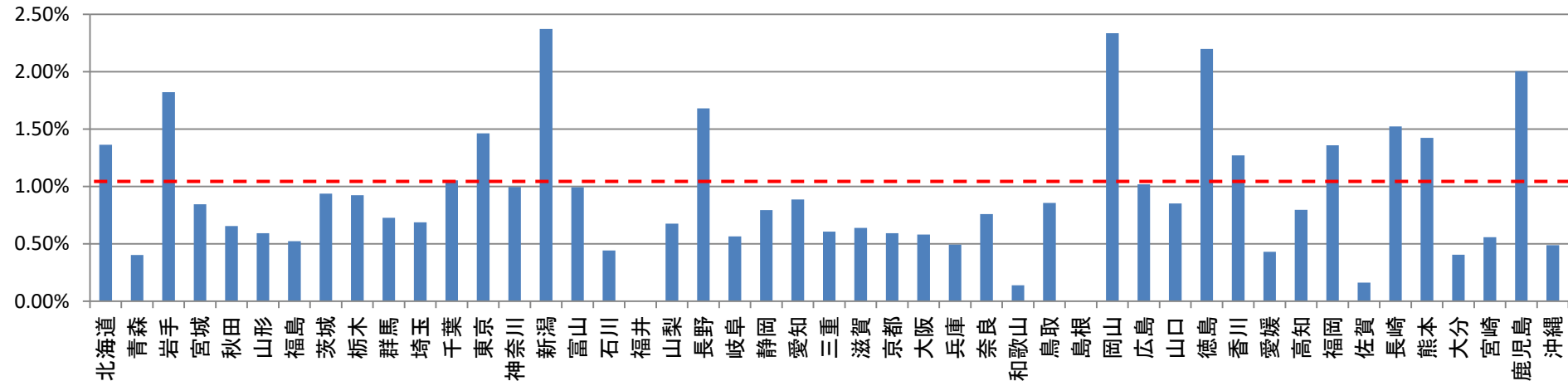
歯科医師総数の8%・・・地域偏在？ → 地方の会員を増やす  
歯科衛生士総数の2%



# 歯科医師当たり

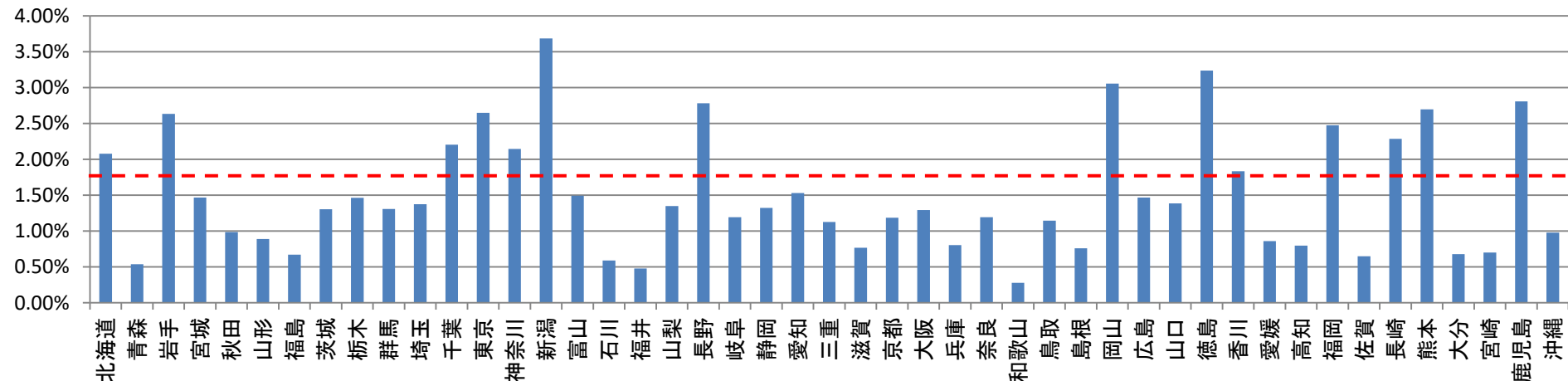
専門医%

1.04% (歯科医師96人に1人)



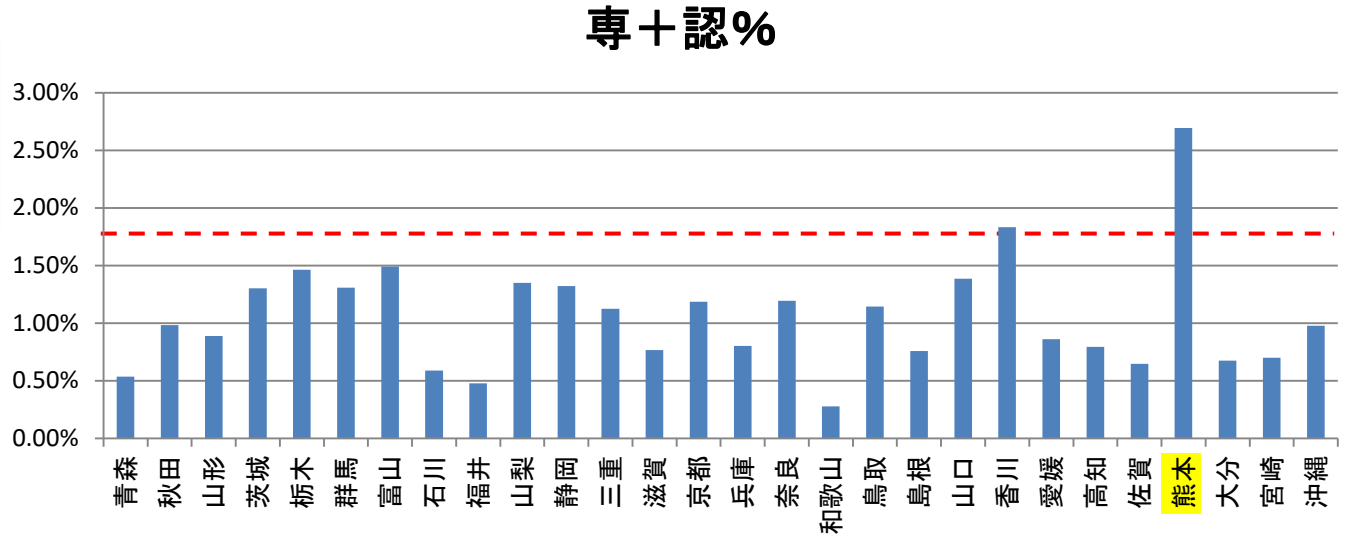
専士認%

1.83% (歯科医師55人に1人)

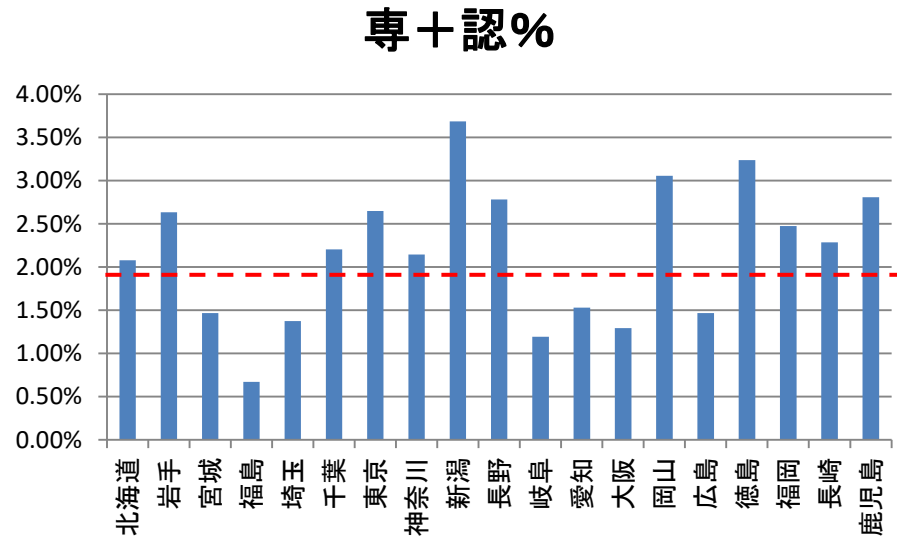


# 歯科医師の1.83%が専門医・認定医

大学の無い県  
平均  
歯科医師の1.05%



大学が有る都道府県  
平均  
歯科医師の 2.16%



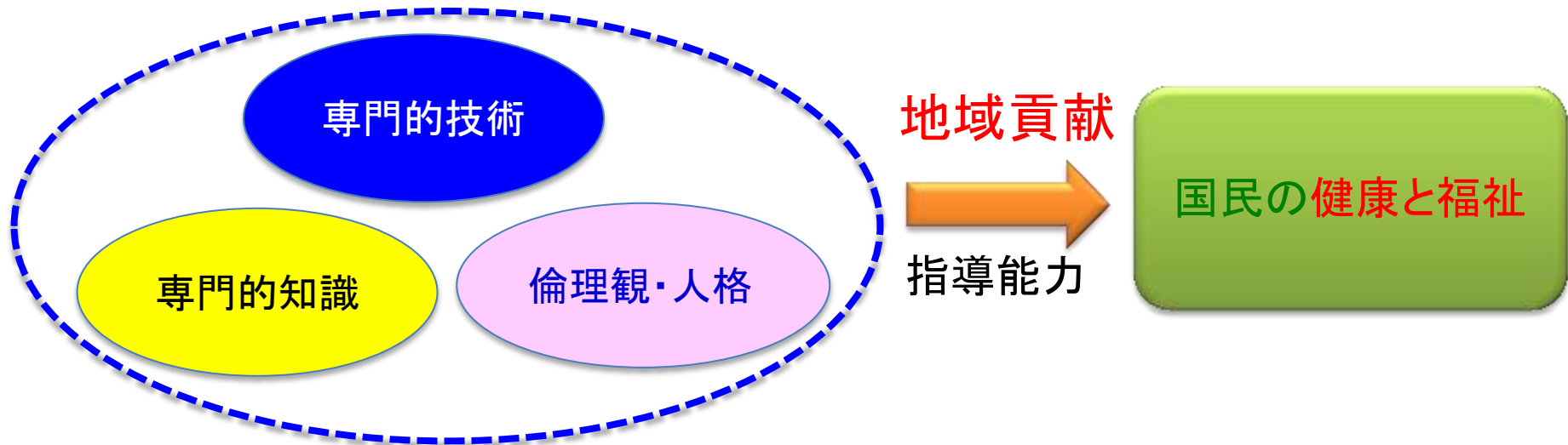
\* 平均を大きく上回る熊本では何が起きているのか？ → モデル県

# 日本歯周病学会専門医像と適正数・適正配置

専門医の地域偏在をどのように解消するか？

- i) 専門医・指導医とはどのようなもの(役割)か？ : 既に議論した
- ii) 地方に必要か？
- iii) 専門医の適正数は？

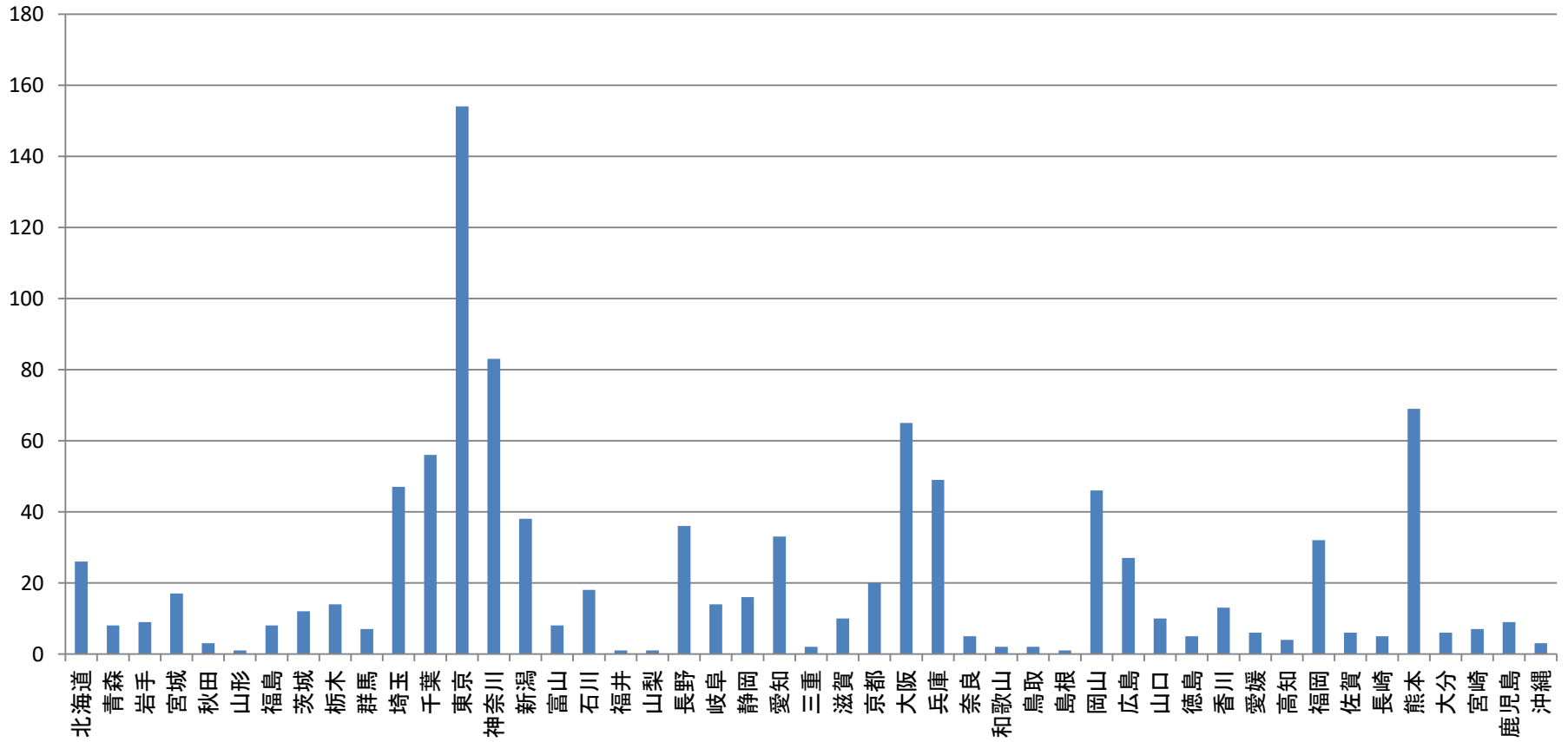
歯周病治療の高度化 = 新しい治療法・考え方を正確に普及させる



・適正数は議論されていない → 適正数・配置が重要

# 認定歯科衛生士分布

## 衛生士



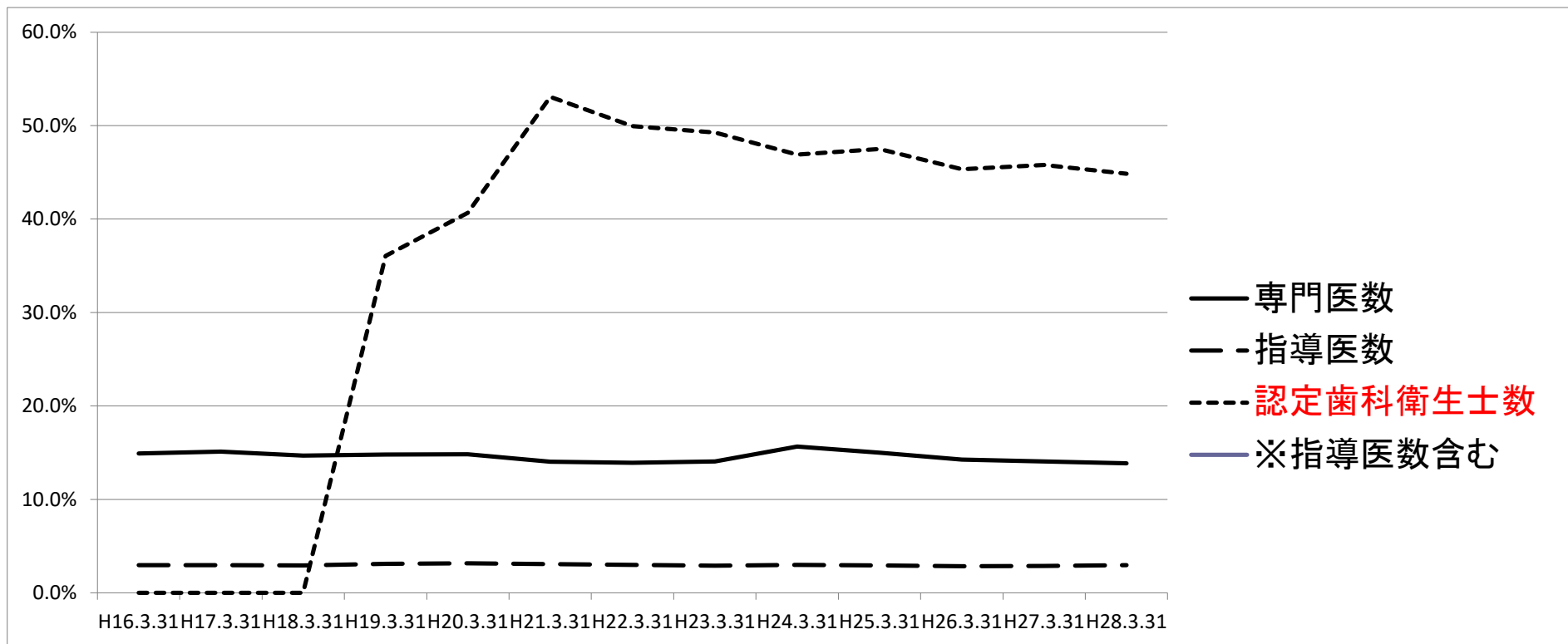
# さらなる発展に必要なこと(将来構想)2

## 2) 歯科衛生士会員の支援

・歯周病認定歯科衛生士の資質向上

→ 日本歯科衛生士会との連携 歯科衛生士理事？

研修会の内容充実強化(Periodontal Medicine)テキストの作成



専門医、認定医、歯科衛生士関連、臨床研修、教育の各委員会

学会ガイドラインに基づいた研修内容の標準化(教育委員会との連携)

# 歯周病治療は新しい時代、 “生物学的活性物質”の時代へ！

1. 歯周組織再生治療薬として“**増殖因子**”を手に入れた

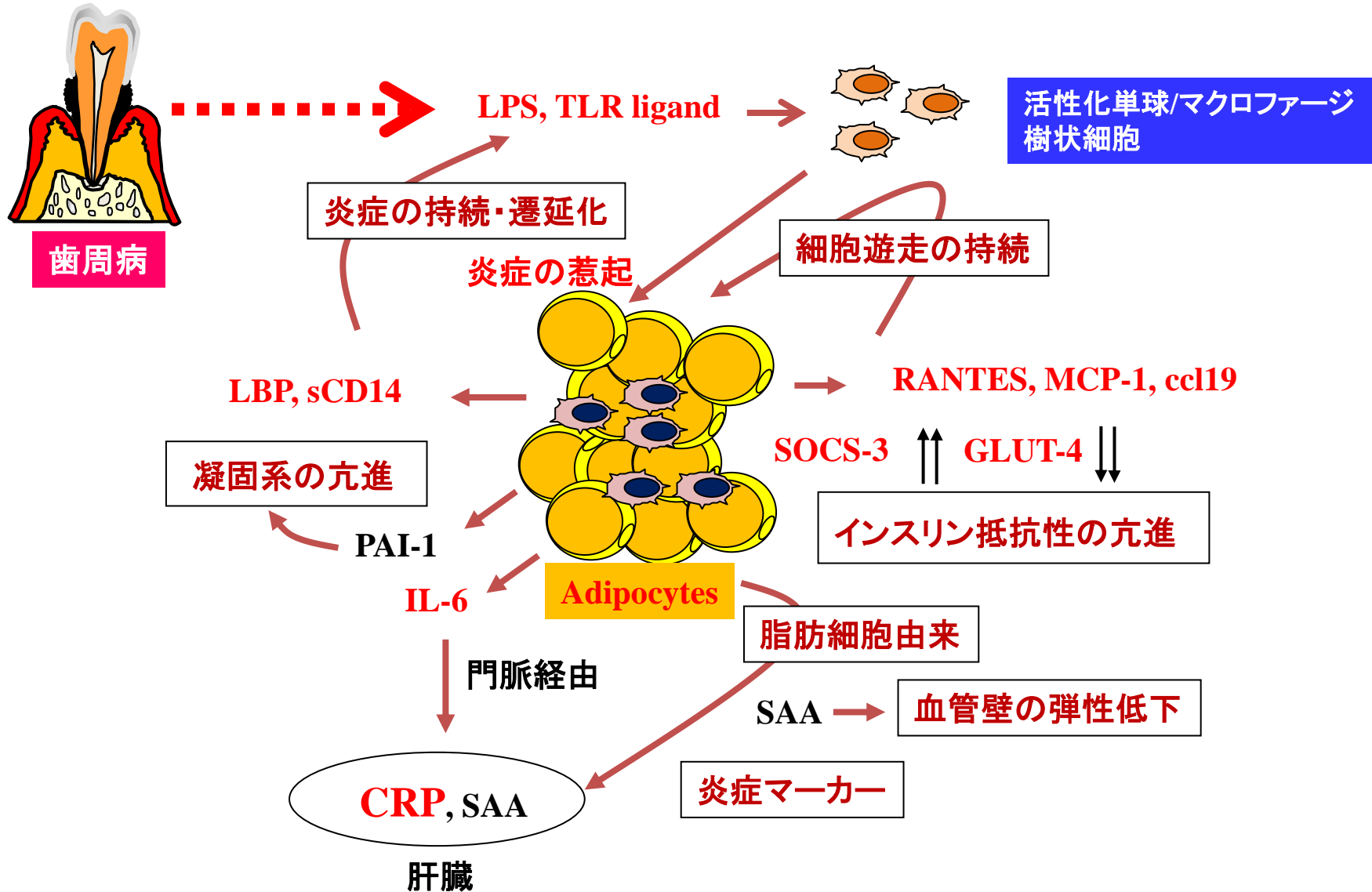
bFGF リグロス



2. 歯周炎と全身的疾患との関係が**分子レベルで解明**された
3. **分子標的治療薬**を投与されている患者の歯周炎治療が現実化

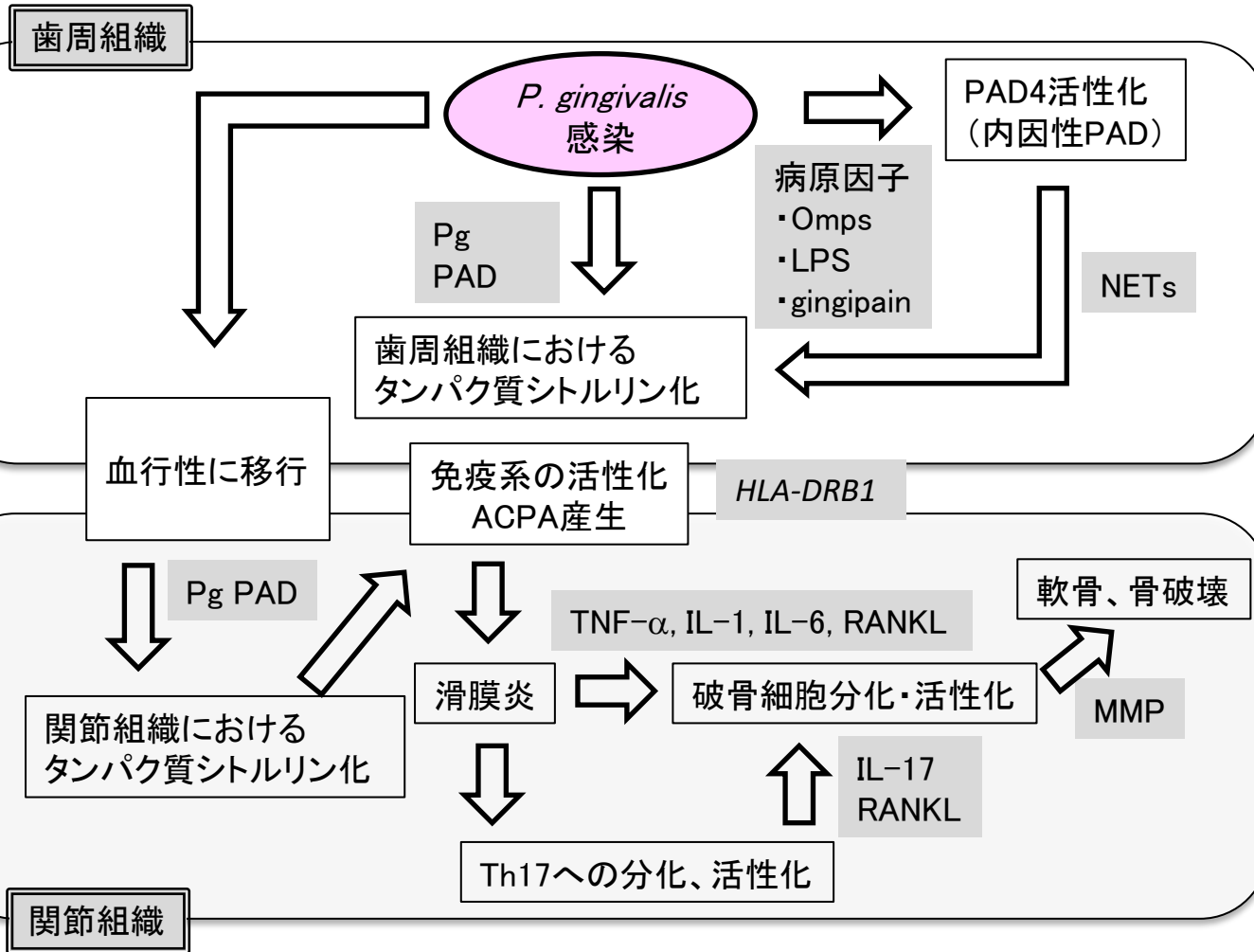
# 歯周炎と糖尿病との関わりのおぼろげされるメカニズム

「歯周病と全身の健康」第2部 西村英紀 先生



# 関節リウマチの病態形成における*P. gingivalis*の影響

「歯周病と全身の健康」第2部 應原 一久 先生



**Tocilizumab**  
**トシリズマブ**  
抗ヒトIL-6受容体mAb

**Infliximab**  
**インフィリキシマブ**  
TNF- $\alpha$ 阻害キメラmAb

PAD: peptidylarginine deiminase  
ACPA: 抗シトルリン化ペプチド抗体, MMP: matrix metalloproteinase  
NETs: neutrophils extracellular traps



# 関連する新しい法律等への対応

- ・地域包括ケアシステム

多職種連携における歯科医師の役割  
在宅・在居高齢者

- ・臨床研究に関する倫理指針

研究にあたって全ての参加者が倫理教育を受ける

- ・再生医療における安全等の確保に関する法律

PRPも対象

- ・AMRアクションプラン

経口内服薬も対象に、抗菌薬の投与の在り方

# さらなる発展に必要なこと(将来構想)3

## 2. 臨床現場への応用を推進＝エビデンスの構築

歯科

### 1) 研究力の強化・研究発信力の強化

- (1) 研究分野の分類(議論の活性化)、大型研究資金の導入
- (2) 他学会(歯科以外)との連携の強化
- (3) **基礎医学研究者の参加促進**

医育機関  
(大学病院)  
9.0%

### 2) 多施設**臨床研究**の推進

- (1) 臨床検査の開発
- (2) 新しい臨床指標の開発
- (3) **データベースの充実**
  - ・侵襲性歯周炎DB化WG
  - ・治療効果(これまでのDB)



### 3) 英文エビデンスの構築

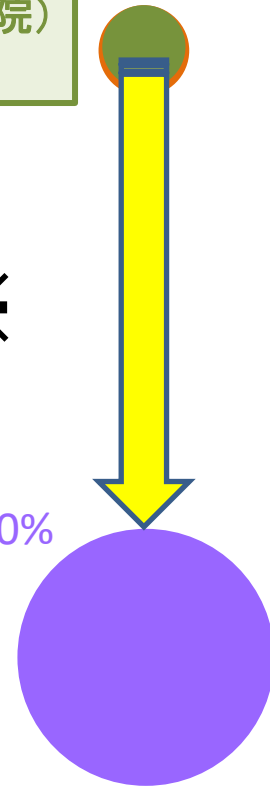
- ・**システマティックレビュー論文作成**の助成  
編集委員会でコントロール

診療所 88.0%

### 4) ガイドラインの充実

- 編集委員会(事務局)でコントロール
- 既存ガイドラインの英文化**

- ・研究委員会
- ・PM委員会
- ・医療委員会
- ・編集委員会



歯周病治療の高度化によって診療報酬を伸ばす

# さらなる発展に必要なこと(将来構想)3

## 3. 国際化の推進

アジア地域への影響力の増大

関連企業との連携

“JSP”の名前を広める 国際化推進の新しいロゴ？

IADR

歯科

1) 英語ホームページの充実

2) ガイドラインの英文化

3) アジアからの参加者の増加

(1) 英語による発表

(2) 留学生の発表

(3) 優秀な研究に対して奨学金

4) アジア地域の歯周病予防治療への貢献

各大学が推進している国際化と連動させる

関連企業からの支援

5) AAP、EFRなどの欧米の組織との連携

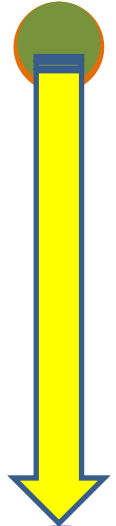


大学病院  
9.0%

AAP



診療所 88.0%



国際交流、広報、編集の各委員会

# 60周年記念大会“京都宣言”

西村大会長の掲げたテーマ

ScienceとHumanityの調和

## “伝統”と“革新”

伝統とは

これまで培った“**科学者としての力**”  
新“**歯周病の科学**”として出版？

革新とは

“**科学を社会に普及**”させるシステム構築

60周年を期に

**歯周病の撲滅**を目指して10年間の  
“**行動目標を設定し宣言**”する

各委員会ごとに行動目標を設定

日本歯周病学会  
60周年記念京都大会  
JSP Diamond Anniversary Meeting in Kyoto

会期 2017年12月16日土-17日日  
場所 国立京都国際会館  
〒606-0001 京都市左京区岩倉大塚町422番地  
TEL: 075-705-1229 FAX: 075-705-1100

伝統と革新  
歯周病撲滅に向けて！

大会長 栗原 英見 広島大学大学院歯学保存学研究所  
歯周病歯学研究室 教授

準備委員会 事務局 広島大学大学院歯学保存学研究所  
歯周病歯学研究室

運営事務局 株式会社日本旅行 西日本 MICE 営業部内  
TEL: 06-6342-0212 FAX: 06-6342-0214  
E-mail: jspr60@mta.co.jp